

## 獣医病理診断研究会 Veterinary Pathology Diagnostic Conference

### 趣旨：

個々の症例について獣医病理学者がディスカッションし、診断名や診断基準についてコンセンサスをとる（または診断のバラツキを知る）ことが主な目的です。また、国内における動物疾患の情報共有、獣医病理学の向上と発展を大きな目標とします。

### 方法：

バーチャルスライドまたはガラススライドと臨床事項を事前に提出し、回覧する。参加者から診断意見書を1週間前までに集める（参加人数の把握）。

当日に提出者が簡単なプレゼンテーションを行い、ディスカッションする。組織標本と細胞標本を対象とし、主に診断基準や分類等について議論する。以下の発表形式を基本とするが、自由に調整可能。1回に3～5演題程度を予定。

- ・症例報告（発表10分、ディスカッション10分程度）
  - 典型例の紹介、診断に苦慮した症例、所見に関する疑問など
- ・複数症例（発表15分、ディスカッション15分程度）
  - 診断コンセンサス（一般的な腫瘍の診断について：乳腺腫瘍など）
- ・その他（発表15分、ディスカッション15分程度）
  - 診断技術など（例：診断マーカー、マージン、サンプリング、標本作製など）

### スライドの提出と回覧方法：

可能であれば、無料ビューワーで開くことができるバーチャルスライドファイルを提出してください。それが困難な場合は、ガラススライドを提出していただき、こちらでバーチャルスライドを作製します。

インターネット上（googleドライブなど）に一定期間アップしますので、ファイルをダウンロードしてご覧ください。

**場所：**東大農学部（詳細は後日確定）

**日時：**奇数月の第3金曜日、19:00から21:00（第1回を2018年5月18日に予定）

**対象：**若手から中堅の獣医病理学者を中心とし、誰でも参加可能。アドバイザーとして、より経験を積んだ病理学者を招くことを検討。

**費用：**当面は無料。参加者と検討し、若干の参加費を集める可能性あり。

（バーチャルスライドデータの作製と管理、開催場所、印刷物など）

### **注意事項：**

- 病理検査（個体の研究）が主なテーマ。基礎研究は本会の趣旨と異なる。
- 診断の難しさや症例の珍しさは問わない。診断に関する素朴な疑問も歓迎。
- 誰でも参加可。病理学を専門とする人（専門にしたい人）を中心に開催する。
- オープンな会であるため、機密性の高い内容は扱わないこと。
- 開催場所、日時、発表形式などについては、参加者の要望に応じて変更する。
- 運営が安定したら、参加者に協力をお願いして役割を分散する。

### **立ち上げ時の役割分担：**

- 開催調整（参加者連絡、場所の準備）：チェンバーズ
- スライド、診断意見書の取りまとめ：相原尚之
- 発表：参加者
- 座長：参加者